

あなたがあなたで あるために

VIII 他人が作るあなたのアイデンティティ

モデルケース 「未成年飲茶」

義男は中学3年生です。12月に高校の推薦入試を受けることになっており、その準備を着々と進めていました。受験勉強の息抜きに、ある夏の日午後、友人の家に遊びに行った義男は、友人の家で出された氷と麦茶が入ったコップの横にウイスキーの瓶を置き、父親がウイスキーを飲むしぐさをまねて、さもおいしそうに麦茶を飲んで見せました。友人はそれを見て面白がり、義男が麦茶を飲んでいる姿をケータイを使って写真にとり、その場でツイッターに写真をアップして「義男ウイスキーを飲む！」というコメントをつきました。友人のツイッターはフェイスブックと連動していて、自動的にフェイスブックに同じ記事がのりました。すると、学校の友人たちからこの写真に「いいね」が次々と集まってきました。

次の日に学校に行くと、ツイッターやフェイスブックを見た友人たちが口々に義男の「ウイスキー」を飲む姿を「すごいねー」と言ってほめてくれました。友人たちの中にはフェイスブックのシェアを使ってこの記事さらにフェイスブックの友達に教えたり、ツイッターのリツイートを使って義男がやったことをフォローしている人たちに知らせた者もいるようでした。

推薦入試の当日、義男は面接員から突然「君は未成年なのに酒を飲むんだね。フェイスブックもツイッターも見たよ。君の名前で検索したら、君が酒を飲む写真が君の名前がタグになって載っていたのを見つけたよ。」と言われてしまいました。それを聞いて義男はあわてて本当のことを説明しました。面接員はニヤニヤしながら義男の「言い訳」を聞いています。義男は面接員が本当のことを信じてくれているのか、まったく自信が持てませんでした。



¹ Image from Microsoft Clip Art

ワークシート VIII

考えてみましょう

1. 義男のことを知らない人が、こうした写真を見たとき、義男をどのような人だと思うでしょう。

2. 面接員は義男が酒を飲んだと誤解しているとしましょう。その責任は誰にあるのでしょうか？義男でしょうか？最初にツイッターに写真をアップした友人でしょうか？その記事をさらに広めた人でしょうか？勘違いをした面接官でしょうか？それとも、ツイッターやフェイスブックというしくみを作った人でしょうか？義男以外の人に責任があるとすると、義男はその人に対して責任を追及できるでしょうか？

3. あなたについての記事や、あなたが写っている写真を他の人がフェイスブックやツイッターなどを使って公開した時に、そのことをあなたはどのようにして気がつくことができるでしょうか？あるいは、気がつくことができないのでしょうか？

4. あなたが他の人についての記事や、他の人が写っている写真をインターネットで公開するときに、どのようなことに気をつけなければならないでしょうか？